



To acknowledge the duty that accompanies every right"
 A?liated with the International Association of Y?s Men?s Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU, OSAKA, JAPAN

2021年5月
 No.468
 Chartered
 July 20, 1982

主題 Y' s THEME (2020~21)

- センテニアルクラブ会長 『共に考え、共に歩む、まずは地固め』
- 国際会長 『命の川を信じよう』
- アジア太平洋地域会長 『変化をもたらそう』
- 西日本区理事 『Let' s do it now!』
- 中西部部長 『ワイズの力を信じて、自ら行動しよう』

クラブ役員 Officers

- | | |
|----------|-------|
| 会長 | 中村 茂高 |
| 副会長 | 三浦 直之 |
| 書記 | 大村 肇 |
| ドライバー | 大村 肇 |
| 会計 | 岡本 剛介 |
| メネット担当 | 坂本 千春 |
| YMCA連絡職員 | 長尾 聡 |

Biblical Message of May

イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。」

(ヨハネによる福音書11章25節)

心からの祈りは、大きな力

山中 秀男

私の最も尊敬する一人に、裏千家第十五代家元、千玄室様がいます。大正12年（1923年）生まれで、今年98歳。文化勲章を受章、古典の日を創設し、日本文化にも、国際的にも大きく貢献されています。この大宗匠が催すお茶会に、私共夫婦は年に4、5回呼んで頂いています。大宗匠の奥様は、雙葉（ふたば）学園の出身で、有名なシスター渡辺和子さんからシスター修業時代、ボストン修練院のエピソードをよく聞かされたとの事でした。当時配膳部署にいたシスターは、百数十名のお皿、フォークなどを配膳していた時、修練院長が来て「何を考えてお仕事をしておられますか」と聞かれ、「特別に」と申したところ、「どなたがお使いになるのかわかりませんが、お使いになる方のお幸せを祈りながらすれば、それが動作にも言動にも現われ、お互いHAPPYな気持ち、雰囲気になるものです」と修練院長に言われたそうです。祈りは決して無力なものではありません。お互い本気で、真剣に祈って、初めて幸せな人間関係、世界平和が実現するので

(表題は大宗匠が日頃、説いているお言葉)



May Club Meeting - LT -

5月第1例会 (Web)

日 時：2021年5月16日（日）14:00~16:00

司 会：中村 茂高 会長

- | | |
|--------------------------|----------|
| 1. 開会 | 中村 茂高 会長 |
| 2. ワイズソング | 一同（ウクレレ） |
| 3. 聖句朗読 | 中村 茂高 会長 |
| 4. 出席者確認 | 中村 茂高 会長 |
| 5. 強調月間 | 中村 茂高 会長 |
| 6. 来期に向けた
キックオフミーティング | |
| 7. 連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 8. お誕生日祝い | 一同 |
| 9. 閉会 | 中村 茂高 会長 |
| 10. ハワイアロハ | 一同（ウクレレ） |

お誕生日
 隅田メン

5月第2例会 (web)

日時：2021年5月26日（水） 19:30~20:30

ZOOMIによるweb会議です。

4月		種別	第1例会 (web併用)	第2例会 (web)	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員	18名	メン	12名	7名	4月 0g	4月 17,000円
例会出席	13名	メネット	2名	1名	現 金 0円	
うちメーキャップ	1名	ビジター	名	0名	累 計	
出席率	72.2%	ゲスト	8名	0名	切 手 204g	累 計：103,950円
		合計	22名	8名	現 金 0円	

今月の聖句

「新たなる命」

ラザロの死の4日後、イエスは現れ、弟の死を悲しむマルタに言った言葉である。主イエスは、死さえも克服する力がある。疫病、紛争、貧困と無情とも思えるこの世の現象に、私たちはおののき、打ちのめされ、なす術もなく途方に暮れる。しかし主イエスは「いつからでも復活できる。そこから始めなさい」と私たちに語られる。

(聖句選/コメント：中村 茂高)

4月第1例会

春の陽気に少し汗ばむ中、4月10日、4月第1例会を大阪YMCA会館10階チャペルで開催した。ゲスト8名を含めた16名と、オンラインによる6名の計22名が出席し、久々の多くの参加者に会場もにぎわった。

今回のメインスピーカーは、YMCAにも大きな貢献をされている長尾ひろみさん。「グローバル時代の新しい高等教育」と題し、昨年4月瀬戸内海の大崎上島に、「瀬戸内グローバルアカデミー」(SGA)を開校した経緯をうかがった。全寮制で、10人の学生主体の志塾。きっかけは、広島女学院大学学長当時、中教審委員として東京に呼ばれたその時の東日本大震災。混乱の中、這々の体で広島に戻った長尾さんが考えたこと。それは、青少年にとって「予測不可能な時代を生き抜く力」が必要だということだった。

今までにない新しい教育機関。そう考えた先のゴールは、まさにYMCAの「全人的教育」につながったと語る。そして、偶然日本にパートナーを求めた米国北東、沖合の島にある、アトランティック大学(COA)と提携することができた。同校は学生350人に対し40人の教授陣で臨み、全寮制、少人数教育で自然との共存をめざす。SGAでは1年で9単位取得すれば、同大学の2年生に編入できるという。将来の構想は、学生と一緒にビジネスにつながる無農薬果樹園の運営をすること、世界の人財と出会うチャンスをつくる、地方行政と連携してゆくなど夢は大きい。長尾さんは、ふるさと納税を活用し経費の半分を賄い、教授陣を1カ月単位で雇用するなど経営の手腕もぞかせる。

「後10年はやりたい」と長尾さん。その躊躇することなく飛び込んでいく勇気と行動力はすばらしい。またこの学校が世界とつながることできざまな可能性が生まれる。私たちは長尾さんの志が瀬戸内から波紋のように広がることを願い、ハワイアロハで散会した。

4月第2例会 (WEB会議)

とき：2021年4月28日(水) 19:30~21:30

出席：大村、坂本哲、芝田、中村隆、中村茂、藤井、山中秀、山中ち 計8名

【検討事項】

* 来期事業提案事項

- 来期役員 前年度を踏襲するが、会計=武田、環境/TOF/EF/CS=谷川、Yサ・ユース=芝田、国際交流=藤井
- 会則の改定 会費など実情に合った改定を大村さんと検討し、5月に提案、7月総会で決める。
- 会費 前年度据え置きだが、前期決算状況を見て総会で決める。

● 活動方針

- ① 例会を他クラブとの合同で行い、より多くの会員との交流を図る。
- ② 年間活動をSDGsと関連付けて行う。
- ③ IBC交流の充実を、谷川さん中心にはかる。
- ④ 坂本千春さんが、アジア太平洋ワイズ役員を機に国際ワイズの動きも注目する。
- ⑤ 広報・ブリテンの更なる充実をはかり、EMCにつなげる。
- ⑥ 表コミ交流事業の促進
- ⑦ ファンド事業にも積極的に推進

【報告事項】

- 岡本剛介さんが諸事情で今限りで退会される。
- 三浦直之さんが諸事情で来期、正会員から広義会員に
- 花本茜さんが5月入籍、7月式予定。クラブからお祝い1万円と色紙を渡した。



YMCAニュース

☆コロナ禍によるYMCA施設利用状況☆

- ・ 大阪南YMCA (天王寺) 9:00-20:00 利用可能
- ・ 大阪YMCA会館 (土佐堀) 9:00-20:00 利用可能
- ・ サンホーム 高齢者生活施設のため利用不可

* ワイズ活動についても、現在の各館の利用状況を確認し、協力をよろしくお願いします。

(長尾 聡 TEL: 06-6441-0894)



真剣な表情で、話を聴くお孫さんの夢亜さん



コロナ禍の世界のワイズ その2 (要約)

英国とボリビアの事例

谷川 寛

国際ワイズの機関誌 ”YMI World誌 “の翻訳を担当していると、コロナ禍でも奮闘している世界のワイズの姿が見えてくる。

その1. 英国ブリストルのキングズウッド・ワイズは60年前のチャーター以来、ずっと募金活動を行い、今日も地元や国内外への寄付活動を続けている。今回のコロナ禍で、すべて中止。さらに、夕食例会も中止せざるをえなくなった。代わって、毎土曜日にズームを活用して集まることにした。そのため、毎月例会での夕食代やコーヒー代が不要になり、その分を募金するよう会員に奨励している。この結果、いつもは事業資金から捻出していた資金を慈善目的に活用できることになった。

また、従来、毎クリスマスには会員同士のクリスマス・カードの交換が慣例だったが、これを取りやめ、e-mailでの交換に切り替えた。そのカード費用を献金するように奨励し、“ロールバック・マラリア”募金に回すことができた。英国の多くの慈善団体への支援が、今回のコロナ禍の影響から減少しているのが現状だが、この難しい時期にかかわらず募金資金を確保でき、ワイズの国際事業へいつもの通り約束の募金額を確保し、目標通り達成できそうだ。



その2. 南米ボリビアは人口6900万の貧しい国。サンタ・クルス・デラ・シエラ・ワイズは1959年3月に、ボリビア国サンタ・クルス市でチャーター。以下女性対象の施設を支援している。①マドレ・マリアは未婚で幼児を持つ母親のための施設②サンタ・テレサ・デロス・アンドレ難民施設は脳性マヒの孤児とハンディのある高齢者③デオス・ノス・イルミネの高齢者施設。また各施設と共働して、さまざまな支援を行っている。

Club Activities

May, 2021

Aloha from Hawaii: via the Wireless connection Businesses are happy that over 18,000 visitors are coming in daily to enjoy the Hawaiian Sunshine! However, only 72 of these are coming from Japan. US passport holders are not allowed to visit Japan at this time. 33% of the Hawaii Population have been vaccinated and 49% have received at least one shot! Many members of the club have been vaccinated. Club meeting date has changed to the 2nd Monday of the Month. Virtual meetings via Zoom is still the norm. Our first gathering was the Week4Wast Project held on April 24 - Picking up 100 pounds of trash at the Kamamalu City Park next to the Nuuanu YMCA, The 84th Hawaii Region Convention to be held on May 24 - will be a virtual one on Zoom! Our Region just loves the clubs in the Japan West Region- 7 of the 10 clubs have Brotherclub Relationships. I hope at least one or more members will attend the international Convention in 2022 and renew their relationships! If it is all possible, go out and enjoy the spring flowers!

Aloha Maurice Shimonishi

Nuuanu Y's Men & Womens' Club!



〈ハワイから、アロハ〉

ハワイの商業関係者は18,000人以上の訪問者がハワイのサンシャインを楽しむために毎日来ていることを喜んでいますが! しかし、日本から来ているのはたったの72人です。現時点では米国のパスポート保有者は日本を訪問することは許可されていません。ハワイの人口の33%が予防接種を受けており、49%が少なくとも1回は受けています! クラブの多くのメンバーが予防接種を受けました。クラブミーティングの日程が第2月曜日に変更されました。ズームでの会議はまだ標準です。

私たちの最初の集まりは、4月24日のWeek4 Wastプロジェクトでした。ヌアヌYMCAの隣にあるカママルシティパークで100ポンドのゴミを拾い、5月24日に開催される第84回ハワイ地域大会はZoomのオンラインになります!

私たちのリージョンは西日本区のクラブだけで、10クラブのうち7クラブはブラザークラブの関係を持っています。少なくとも1人以上のメンバーが2022年の国際大会に出席し、関係を新たにすることを願っています! それが可能であれば、外に出て春の花を楽しんでください!

アロハ・モーリス・シモニシ

ヌアヌのメン&ウィメンズクラブ

(左写真は、4月24日のヌアヌの会員による清掃の様子、右写真は、私たちのクラブとIBC提携のきっかけをつくらりー(92) & メイ(90)・ヒラナカ夫妻)

私と仕事 そして家族

岡本 剛介



2019年8月23日に父から代表取締役社長を引き継ぎました。父の会社に入社した時から、与えられた仕事ではなく、自分で作った仕事で売り上げを伸ばしてきました。ですから、社長になっても日常の仕事は一切変わらないはずでした。それが今回のコロナ禍で大きく変わったのです。

父や母、弟、社員の出勤数を減らし、日常業務、銀行、助成金、税理士との交渉、ほぼ自分一人で会社を動かさざるを得なくなりました。結果、意識が変わりました。私は性格的に他人と争うのは嫌いです。他人の意見をよく聴き、他人を納得させるまで何かを進めることはしません。しかしこの性格では社長の役割は務まりません。社長としての私の役割は、すべての責任を負うこと。意思決定をするまでの過程で他人の意見は聴きますが、意思決定するのは私です。その結果、物事を進めるスピードが速くなり、やりたい事がどんどん前に進むようになりました。間違っていたら直せます。変化に柔軟に対応できます。現在、人手は足りません。すべての仕事が私に回ってきて、毎日がとても忙しく感じます。しかし会社の業績は減収でも、助成金などを利用し、増益で自己資本比率も増えています。経営状況はまったく問題なしで、よしとしましょう。

さて、皆様にご報告です。昨年からは仕事に追われ、妻に大変な負担をかけてきました。まずは自分の状況を整えたいと考えています。気持ちに余裕ができるまで、ひとまずワイズを退会させていただこうと決めました。またコロナ禍が落ち着きましたら、皆様にご挨拶ができればと考えています。長い間、ありがとうございました。

保険の ちょっと いい話



最近のがんの治療で「粒子線療法」が注目されているが、これはがんピンポイントで放射線を照射するので、外科手術や化学療法に比べ副作用や体の負担も少ないというメリット。しかしこの技術料は公的医療保険が適用されないため、全額自己負担となり、重粒子線治療や陽子線治療の技術料は約300万円と高額。保険会社の医療保険には「先進医療特約」という特約があり、この特約に加入していると、先進医療を受けた時の技術料実費を負担してくれる。保険料は毎月90~130円ほどで加入できるので、是非加入をお勧めする。また現在契約している医療保険に中途付加することも可能だ。 武田 善博



ポスト・コロナの中国の世界戦略

早い経済回復、でも課題は国際協調

何 早林

世界では依然コロナウイルスの感染拡大が続く中、中国はいち早くコロナを抑え、景気回復を果たしている。一番の要因は比較的最初の段階で、湖北省及び武漢市に対してロックダウンを実施したことだ。また感染拡大を抑制するために実施したいくつかのことがその後の感染拡大の抑制に役立つことになった。非接触型アプリとオンラインの活用が感染拡大抑制に大きく貢献している。公共施設や商業施設等を利用する際に必ず「健康QRコード」のアプリを使用することで、感染経路の把握ができ、いち早く対策をとることができた。またスマホの決済アプリの普及で、キャッシュレスでの支払いは感染を抑え、にせ札防止にも役立った。オンラインによる医療及び授業で人の移動は減少し、更にネット販売の拡大で日用雑貨、衣料品以外に、生鮮食料品や地方中小都市のご当地グルメ等、国内消費の刺激にも役に立った。そういったデジタル社会を支えているのは5G、AI、ドローン等の新技術や産業、またインフラ整備への投資。高速道路、高速鉄道、港湾、空港等の建設は各地で進んでおり、目まぐるしい変化に驚かされる。

中国は感染拡大の抑制によって、いち早く経済活動の再開ができ、工場の稼働がコロナ前のレベルまで復活している。中国では海外留学組やIT等の技術に知識を持っている人が政府の中堅幹部になっているため、率先して新しい技術や産業の支援を強化できている。コロナ後の中国は、デジタルや、AI、5G、EV、コンピューターなどの分野でこれからも力を入れていこう。しかし、中国にとって、いかに国際的に各国と協力しながら、互いを尊重し、ともにウィン・ウィンの関係を築いていけるかが最も重要課題だ。

後記

- ・岡本剛介さんの記事を読んで、仕事と家族を守る責任の重さを痛感します。また私たちの所へ戻ってくださることを願います。
- ・長尾さんの躊躇しない挑戦は、とても私たちに希望を与えてくれます。私たちもふるさと納税で応援しましょう！

ご報告

Shige



5月に入籍、結婚しま〜す♡
お祝いと色紙、ありがとうございましたー！
学園都市駅前
花本茜さん



Going Global

「コロナ禍のワイズ その2」

英国とボリビアの事例

谷川 寛

国際ワイズの機関誌 ” YMI World誌 “の翻訳を担当していますと、コロナ禍でも奮闘している世界のワイズの姿が見えてきます。以前にも、一度、ご紹介しましたが、今回は英国とボリビアの事例をご紹介します。

その1

英国ブリストルにあるワイズは、英国に二つしかないワイズの一つです。ロンドンからバスで1時間。かつて栄えた港町の住宅地にあるワイズです。Norman Cullimore さんとは長い付き合いでしたが、一昨年亡くなりました。彼の家でホームステイさせてもらったことがあります。前回来日時、山中ワイズ宅で世話になったAlan Wallingtonさん夫妻も、同じクラブです。同クラブはコロナ禍にめげず慈善奉仕活動を続けており、国際奉仕に積極的な姿が、以下の記事からお分かりでしょう。

「英国ブリストルのキングズウッド・ワイズは60年前のチャーター以来、ずっと募金活動をおこなってきました。その結果、今日も地元、国中、さらに国際への寄付活動を続けています。活動の中には、音楽関係の競技会開催、コーヒーやホットドックの短期の訪問客や、英国南東部の観光地への販売、さらにクリスマスツリー販売など多くの募金活動を手がけてきました。最近の活動のなかには、地元のコミュニティーでの“クイズ・ナイト”、“ビッグバンド”コンサートがありました。今回のコロナ禍のため、これらの行事を中止しました。また、2020年3月以来毎月の夕食例会も中止せざるをえなくなりました。さらに、地元の教会での毎土曜日の買い物客相手のコーヒーとケーキの販売も同じように中止に追い込まれました。

例会も対面での集まりが難しくなり、さらに、コーヒーを囲んでの朝食も難しく、代わって、毎土曜日にズームを活用して集まることにしました。そのため、毎月例会での夕食代やコーヒー代が不要になりました。その分を募金するように会員に奨励。この結果、いつもは事業資金から捻出していた資金を慈善目的に活用できるようになりました。おかげで、2020年12月までに会員から2,555英国ポンド（邦貨394,000円相当）集まることに成功しました。また、従来、毎クリスマスには会員同士のクリスマス・カードの交換が慣例でしたが、これを取りやめ、e-mailでの交換に切り替えました。そのカード費用を献金するように奨励した結果、210英国ポンド（邦貨32,000円相当）を“ロールバック・マラリア”募金に回すことができました。英国の多くの慈善団体への支援が、今回のコロナ禍の影響から減少している現状ですが、幸い、自分たちのワイズは、この難しい時期にかかわらず募金資金を確保でき、ワイズの国際事業へいつもの通り約束の募金額を確保し、2020/21下期の活動も目標通り達成が可能な予定です。」

その2

南米ボリビアは人口6900万の貧しい国です。同国第二の都会、サンタ・クルスに62年前にチャーターした老舗ワイズは、チャーター以来、募金活動、そして、支援活動に積極的です。日本でしたら、政府、ないし、大きなNPOが担当するような社会的弱者を救済・収容する施設に対して、懸命に支援活動を続けています。頭が下がります。

「サンタ・クルス・デラ・シエラ・ワイズは1959年3月に、ボリビア国サンタ・クルス市で“チャーターしました。私たちのクラブのボランティアとしての支援活動の重点は次のような施設を対象にしています：1. マドレ・マリアと呼ばれる未婚で幼児を持つ母親のための施設では30人の性的暴行を受けた12歳以下の女兒を保護しており、彼女らを支援しています。2. サンタ・テレサ・デロス・アンドレと呼ばれる難民施設では脳性麻痺を持つ23人の孤児と53人の種々ハンディを持つ53人の高齢者の収容者が対象です。3. デオス・ノス・イルミネと呼ばれる高齢者施設では24人の高齢者を収容しており、彼女らへの支援です。

私たちのクラブでは、これらの施設と共働して、彼女らに精神的な支援、モラル、宗教的支えを提供しています。訪問して彼女等を勇気づけ、食料、衣料、洗面道具をも提供しています。これらの活動は今のコロナ禍でも、頑張って続けています。

私たちはYMCAの会員ともオンラインで結ばれており、ワイズのLAM エリアの他のクラブともつながっています。私たちの実りある地域活動をご覧になって、PIP ジェニファー・ジョーンズは、高く評価されてしかるべきだと、声援してくれました。





I'll Remember You

中村 茂高

1973年1月14日、ホノルル・インターナショナル・センターからエルビス・プレスリーがサテライトを使い、世界初の宇宙中継コンサートを開催した。このコンサートはまた、この曲の作者で、1966年34歳で若くして癌（がん）で亡くなったクイ・リーの癌基金慈善コンサートも兼ねていた。プレスリー自身、この曲を甘く情熱的に歌いあげる。

クイ・リーが歌うYouTubeでは、プレスリーの歌い方とはまったく違って、ハワイの気だるい昼下がりに、ハンモックに揺られ聞くような心地よさが耳に残る。クイ・リーは60年代のハワイで、ドン・ホーとともに、今までになかったニュー・ウェイブをもたらし、爆発的ヒットを飛ばした。この歌は彼の死後も、プレスリーやアンディ・ウィリアムスなどメジャー・シンガーによって歌い継がれた。

また、38歳で亡くなった340kgの巨漢、伝説的ハワイのシンガー、イズラエル・カマカヴィヴォアレもこの曲をカバーしている。彼の美しいハーモニーはいつまでも聴いていなくなる。私は、この三者三様の名曲が好きだ。



エルビス・プレスリー



クイ・リー



イズラエル・カマカヴィヴォアレ

ニコニコ メッセージ

NIKO NIKO MESSAGE



【ゲスト/ビジター】

○幸か不幸か、なかのしまの例会が中止となり、この例会への出席が可能となりました。長尾ひろみさんのお話、聞かせていただいてよかったです。

(杉浦 眞喜子・なかのしま)

○2021年7月から東・西日本区合同通訳・翻訳チームの委員長を拝命することになりました。引き続き、よろしくお願い致します。

(田尻 忠邦・大阪)

○ほんとうにひさしぶりに例会に出席いたしました。谷川寛さんからの声をかけていただき感謝です。長尾ひろみさんのお話もおうかがいできてうれしく思っています。堂島にあった国際社会奉仕センターで例会がもたれ、またセンターの活動をご支援いただきました。ありがとうございました。

(真嶋 克成・元大阪Yスタッフ)

○久々に「教育」について考えました。昔、理想だなーと思っていたこと、でも忘れていました。もうトシ〜と思っていること、少しでも考え直していこうかな？

(保田 圭子・なかのしま)

○本日はありがとうございました。(湯浅 禎也・大阪西)

【メンバー】

○久しぶりに多くの人が集い、楽しい例会でした。

(石津 雅人)

○長尾ひろみ先生、代表の瀬戸内グローバルアカデミーの時代に即応した教育方針は素晴らしいと思いました。私の孫も出来れば入学させたい！と思います。

(芝田 光雄)

○ひさしぶりに例会に出席させていただきました。長尾先生のすばらしい教育方針に感銘を受けました。

(武田 善博)

○今度は長尾さんは、新しいプロジェクトに参画されているそうで、成功をお祈りしています。大変うれしいです。

(谷川 寛)

○大変すばらしいお話、ありがとうございました。

(中村 隆幸)

○理念と経営の両方をしっかり考えられている瀬戸内グローバルアカデミーの構想は、大変すばらしいと思います。長尾様、ありがとうございました。

(中村 茂高)

○長尾先生の構築された学校とビジネスについてのお話、なるほどと思いました。体力が必須、納得できました。ありがとうございました。

(藤井 孝三)